

在コルカタ日本国総領事館管内安全対策情報
令和4年度第1四半期（令和4年4月～6月）

1 社会・治安情勢

当館が管轄する西ベンガル州、ビハール州、オディシャ州、ジャールカンド州においては、これまで、極左武装勢力マオイストの脅威が存在してきたほか、国政与党BJPと西ベンガル州政与党TMC間での衝突・抗争等により、死傷者を出す事件が発生してきました。

今期は、主に以下のような事案が発生しました（当地紙報道による）。

【4月】

- 1日、西ベンガル州コルカタ市内 Howrah Ramkrishnapur Ghat で、地元の若者3名が、酒を飲みながらホッケーの試合を観戦していたところ、口論となり、1人の若者が2人を竹の棒で殴り、1人が翌日に死亡しました。
- 12日、西ベンガル州コルカタ市内 Bowbazar で、帰宅途中の女性警察官が、見知らぬ男から痴漢をされ、顔面を平手打ちされました。
- 13日、西ベンガル州コルカタ市内 Behala で、地元の祭りの管理問題を巡って2つのグループが対立し、瓶等を投げ合う抗争となりました。一旦は、警察が同グループを解散させたものの、再度集結し抗争となり、5人が負傷、2人が重傷を負いました。
- 13日、オディシャ州 Bhubaneswar の Nayapalli 地区で、帰宅途中の自転車に乗った女性が、後ろから来たバイクに乗った3人組の男らにネックレスを奪われました。女性は抵抗した際にバランスを崩して自転車から転倒し、けがを負いました。
- 15日、西ベンガル州コルカタ市内で、TMCの市議会議員の弟がバイク事故を起こしたことが発端となり、対立する支持者間で抗争となり、現場に駆けつけた議員自身も攻撃され負傷しました。
- 16日、ジャールカンド州 Hazaribag の Bigha 森林地帯で、大規模な山火が発生し、約6ヘクタールが焼失。また、初期消火に当たっていた森林局職員4人が重傷を負いました。
- 16日、ビハール州 Nalanda で、数名の男性が宝石店を訪れ、金を要求したが、男性店主は拒否しました。しかし、その後、数十名の男性が再度訪れ、同店主及び従業員1名を射殺しました。
- 16日、ジャールカンド州 Ranchi で、市議会議員の夫がバイクに乗った何者かにけん銃で撃たれて死亡しました。
- 18日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、アルコール依存症の父親の暴力に耐えられず、22歳の息子がけん銃を用いて父親を殺害しました。

- 18 日、西ベンガル州コルカタ市内 Lake Garden 地区で、この地域の建設業を支配しようとしている 2 つのグループが抗争を行い、少なくとも 3 人が鈍器や竹の棒で殴られて負傷し、2 人が重傷を負いました。
- 18 日、オディシャ州 Bhubaneswar で、数千人のタクシー運転手が待遇改善等を求めて抗議活動を実施。この活動で、Vani Vihar Square と Raj Mahal Square を結ぶ道路が約 1 時間にわたって通行止めとなりました。
- 19 日、西ベンガル州コルカタ市内で、一人のプロモーターのもとで共に働いていた男性 2 人が、何らかの原因で仲たがいがいし、一方がけん銃を発砲したところ、撃たれた男性の支持者がけん銃を撃ち返し、男性 2 人が重傷を負いました。
- 19 日、西ベンガル州コルカタ市内で、電気を盗んでいた 2 人組の男らに対して、近所に住む青年が抗議したところ、この青年は男らにけん銃の銃把の部分で頭を殴られて重傷を負いました。
- 20 日、西ベンガル州コルカタ市内 Kasba で、ビジネスマンの男性が会社から出てきたところで、十数人の警察官と名乗る男に、「事情聴取が必要である。」と言われ車に乗せられ誘拐されました。その後、男性の家族に身代金を要求する連絡がありました。しかし、警察の捜査によって男性は救出されました。
- 22 日、西ベンガル州コルカタ市内 Haridevpur で、警察は密告に基づき、児童養護施設近くに放置された 3 台のオートリキシャから粗製爆弾 19 個、けん銃 1 丁、2 個の実弾を押収しました。
- 23 日、西ベンガル州コルカタ市内 Howrah で、自宅前に置かれた水筒の水を、野良犬が飲んだことに腹を立てた男性が、野良犬をナイフで刺した。それを見ていた通行人の女性が男性を注意したところ、注意した女性も暴行を受けました。
- 22 日、ジャールカンド州 Lohardaga と Latehar の国境で、女性が森の中で花を集めていたところ、マオイストが仕掛けた爆弾が爆発し、死亡しました。
- 24 日、西ベンガル州 Malda で、子供 4 人がボールと勘違いして粗製爆弾で遊んでいたところ爆発し、2 人が負傷、2 人が重体となりました。
- 24 日、ジャールカンド州 Latehar で、政治政党 JMM (ジャールカンド・ムクティ・モルチャ) Balumath ブロック会長が、バイクに乗った何者かにけん銃で撃たれて死亡しました。

【5月】

- 5 日、オディシャ州 Jharsuguda で、Howrah-Mumbai 間を結ぶ長距離列車の駅においては、コロナ渦で急行列車が停車しない措置が取られてますが、コロナの状況が改善されたにも関わらず列車が停車せず、市民生活に影響が出ているとして、市民 1, 000 名が線路に座り込み抗議活動を実施し、14 時間にわたって列車の運行を妨害しました。
- 6 日、西ベンガル州 Titagarh で、貿易商の男性が以前から地元のグループから金銭の

支払いを要求されていましたが拒否していたところ、男性の息子がけん銃で撃たれて死亡しました。

- 13 日、ジャールカンド州 Pakur で、村人が結婚式のために集まっていたところ、落雷により女性 2 名が死亡、4 名が重傷を負いました。
- 15 日、西ベンガル州 Murshidabad で、宗教行事の行列に、何者かが爆弾を投げつけ、グループ同士の乱闘騒ぎとなりました。事態を收拾しようと現場に駆けつけた警察官も、レンガや棒で攻撃されて 4 名が負傷しました。
- 19 日、西ベンガル州 North 24 Parganas で、プロモーターの男性ら 2 名が、レストランで食事をとっていたところ、何者かに銃撃され重傷を負いました。地元シンジケートの縄張り争いが原因とみられています。
- 22 日、西ベンガル州 Purba Medinipur で、情報に基づき警察が捜索を実施したところ、粗製爆弾 800 個が入ったドラム缶 12 個(15 個との報道もあり)を森林地帯から押収しました。
- 27 日、西ベンガル州 Bidhannagar で、西ベンガル州教員採用試験に関して、採用プロセスの透明化を要求して、州教育委員会への抗議活動が行われました。抗議活動を止めようとした警察官のうち少なくとも 2 名が切り傷を負い、抗議に参加した 133 名が公務執行妨害等で拘束されました。
- 31 日、ビハール州 Patna で、2 人の男性がバイクで移動中に、何者かにけん銃で撃たれ、2 人が死亡しました。対立するギャング同士の抗争と見られています。

【6月】

- 1 日、西ベンガル州 East Bardhaman で、西ベンガル州警察は情報に基づき、オンラインで注文を受け、指定された場所へ爆弾を宅配していた男を逮捕しました。
- 2 日、ビハール州 Bhojpur で、電子部品店を営む男性が店にいたところ、3 人組の男性にけん銃で撃たれて死亡しました。捜査の結果、被害者とは土地関連のトラブルを抱えていたとのことでした。
- 2 日、オディシャ州で、Malkangiri 地区の 50 名のマオイストシンパが警察に自首しました。
- 3 日、西ベンガル州コルカタ市内で、市内のショッピングモールのフードコート等で、客の鞆から、財布や携帯電話の窃盗を繰り返していた男を逮捕しました。男は、客が自分の鞆から目を離した隙に貴重品等の盗みを繰り返していました。
- 6 日、西ベンガル州コルカタ市内 Bhowanipore で、アパートの一室で、50 代の夫婦が殺害されている状態で発見されました。警察は、現場に荒らされた跡があることから、強盗殺人として捜査しています。

- 10 日、西ベンガル州コルカタ市内バングラデシュ副高等弁務官事務所前で、同事務所の警戒に当たっていた警察官が無差別にライフル銃を発砲し、1 発がバイクで通りかかった女性に命中し死亡、2 人が負傷しました。女性を撃った警察官は、自ら発砲し、死亡しました。
- 10 日、ジャールカンド州 Ranchi で、BJP 報道官の宗教的発言に対して、人々が抗議活動を行い、29 人が逮捕されました。
- 10 日、西ベンガル州 Howrah で、BJP 報道官の宗教的発言に対して、人々が抗議活動を行い、解散させようとした警察部隊と衝突し、警察官詰所や車等に火を付けるなどしました。
- 12 日、西ベンガル州 Nadia で、BJP 報道官の宗教的発言に対して抗議活動を行っていた人々がローカル列車を破壊しました。
- 16 日、ビハール州 Saran で、政府が導入を決めたインド軍採用プロセス(アグニパス・スキーム)に対して抗議活動が行われ、抗議者が列車に火を付けるなどしました。
同抗議活動は各地で続き、多くの長距離列車が運休となりました。
- 19 日、西ベンガル州コルカタ市内で、男性が路肩に車を止めていたところ、後ろから別の車に追突されました。男性が、追突した車の運転手に抗議したところ、車で轢かれボンネットに乗せられたまま数キロにわたって走行するという暴行を行いました。なお、加害者は非番の警察官であったとのことです。
- 22 日、ビハール州 Hajipur で、けん銃で武装した強盗 5 名が宝石店に押し入り、店にいた経営者と客を脅して、現金と宝石を強奪しました。強盗に抵抗した経営者は、けん銃で撃たれて死亡しました。
- 26 日、西ベンガル州コルカタ市内で、豪雨により浸水した地域を歩いていた少年が、バランスを保とうと電柱に触れたところ感電し、死亡しました。
- 29 日、ジャールカンド州 Bokaro で、けん銃や爆弾で武装した5～6人の強盗が銀行に押し入り、店員を脅して現金およそ 39 万ルピーを強奪しました。

2 邦人に係る一般犯罪情勢

令和元年度においては、邦人の旅行者をターゲットにした事件が複数件発生していました。令和2年度及び令和3年度においては、インド政府ならびに州政府によるロックダウンのため、邦人の旅行者数や在留邦人の外出の機会が減少しており、邦人の一般犯罪被害は減少しました

2022年4月から6月(令和4年度第1四半期)にかけても、当館では邦人の一般犯罪被害情報には接していません。

しかし、これは、犯罪が根絶された訳ではなく、市中で邦人が加害者に遭遇する機会が減少したことによるものであり、加害者は隙があるターゲットを常に探しています。

上記「1 社会・治安情勢」に記載のように、当地報道によれば、西ベンガル州だけではなく、ジャールカンド州、ビハール州およびオディシャ州の各州において強盗事件が発生しています。行動制限の緩和に伴い各地で犯罪も増加している模様です。

強盗だけではなく、旅行者に対して、声をかけてくる人物にも最大限用心し、不審な誘いや要求があった場合、断るか、それには応じず速やかにその場を離れる等といった対応も必要です。

たとえ、声をかけてきた人物と一緒にいる間、親切な振る舞いであったとしても、相手は巧みにだましてきている可能性があります。相手の突然の要求に不審を抱きながらも、これまでの経緯から信用した結果、被害に遭ってしまった事案がほとんどです。犯罪に巻き込まれないためには、常に細心の注意をはらい、相手の言動に不審な点が認められた場合は、問題がないと判断されるまで従わないように心がけてください。

当地では、親しくなったと思った頃に、信用したインド人から高額な保証金の支払いを要求されたり、預けた貴重品を持ち逃げたりされるなど邦人の被害が多く発生しておりますので、引き続き御注意ください。

(1) 殺人

邦人被害の事件には接していません。

(2) 強盗

邦人被害の事件には接していません。

(3) 強姦

邦人被害の事件には接していません。

(4) 詐欺・ぼったくり等

邦人被害の事件には接していません。

3 テロ・爆弾事件発生状況

邦人被害の事件には接していません。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人被害の事案には接していません。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

日系企業がターゲットにされた事案及び関連情報はありません。

6 その他

インド国内では、道路上にも電線が垂れ下がっているなどしています。これら電線や電柱に触れて、感電死する事案も多数報告されています。当地は、雨期になると、強風の影響などで切れた電線が道路上にまで伸びていることが多く見受けられますので、無理に撤去しようとするなど不用意に電柱や電線に触れない様に御注意ください。(了)